

特殊詐欺対策ニュース

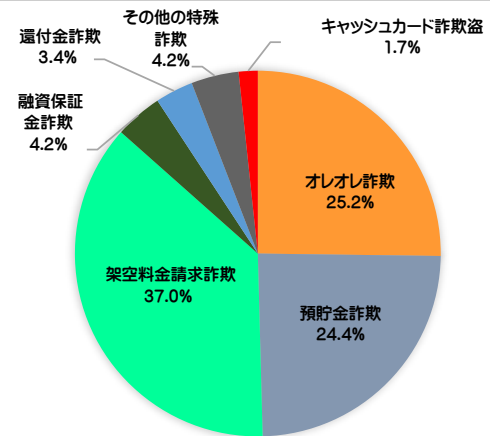
令和7年4月
警察本部生活安全企画課

特殊詐欺認知状況（令和7年3月末） ※暫定値

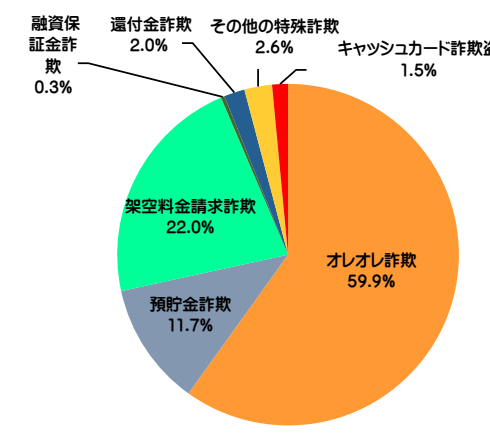
1 特殊詐欺の認知件数・被害額の状況

		認知件数	被害額
特殊詐欺合計	R7	119	233,611,452
	R6	14	25,471,381
	増減数	105	208,140,071
オレオレ詐欺	R7	30	139,954,262
	R6	2	9,299,600
	増減数	28	130,654,662
預貯金詐欺	R7	29	27,269,000
	R6	1	249,000
	増減数	28	27,020,000
架空料金請求詐欺	R7	44	51,387,226
	R6	6	5,530,000
	増減数	38	45,857,226
融資保証金詐欺	R7	5	810,236
	R6	0	0
	増減数	5	810,236
還付金詐欺	R7	4	4,572,228
	R6	2	5,284,269
	増減数	2	-712,041
金融商品詐欺	R7	0	0
	R6	0	0
	増減数	0	0
ギャンブル詐欺	R7	0	0
	R6	0	0
	増減数	0	0
交際あっせん詐欺	R7	0	0
	R6	0	0
	増減数	0	0
その他の特殊詐欺	R7	5	6,119,500
	R6	3	5,108,512
	増減数	2	1,010,988
キャッシュカード詐欺盗	R7	2	3,499,000
	R6	0	0
	増減数	2	3,499,000

【認知件数の比率】



【被害額の比率】



2 3月中に認知した主な事件

(1) 警察官をかたるオレオレ詐欺により、1,396万円の被害

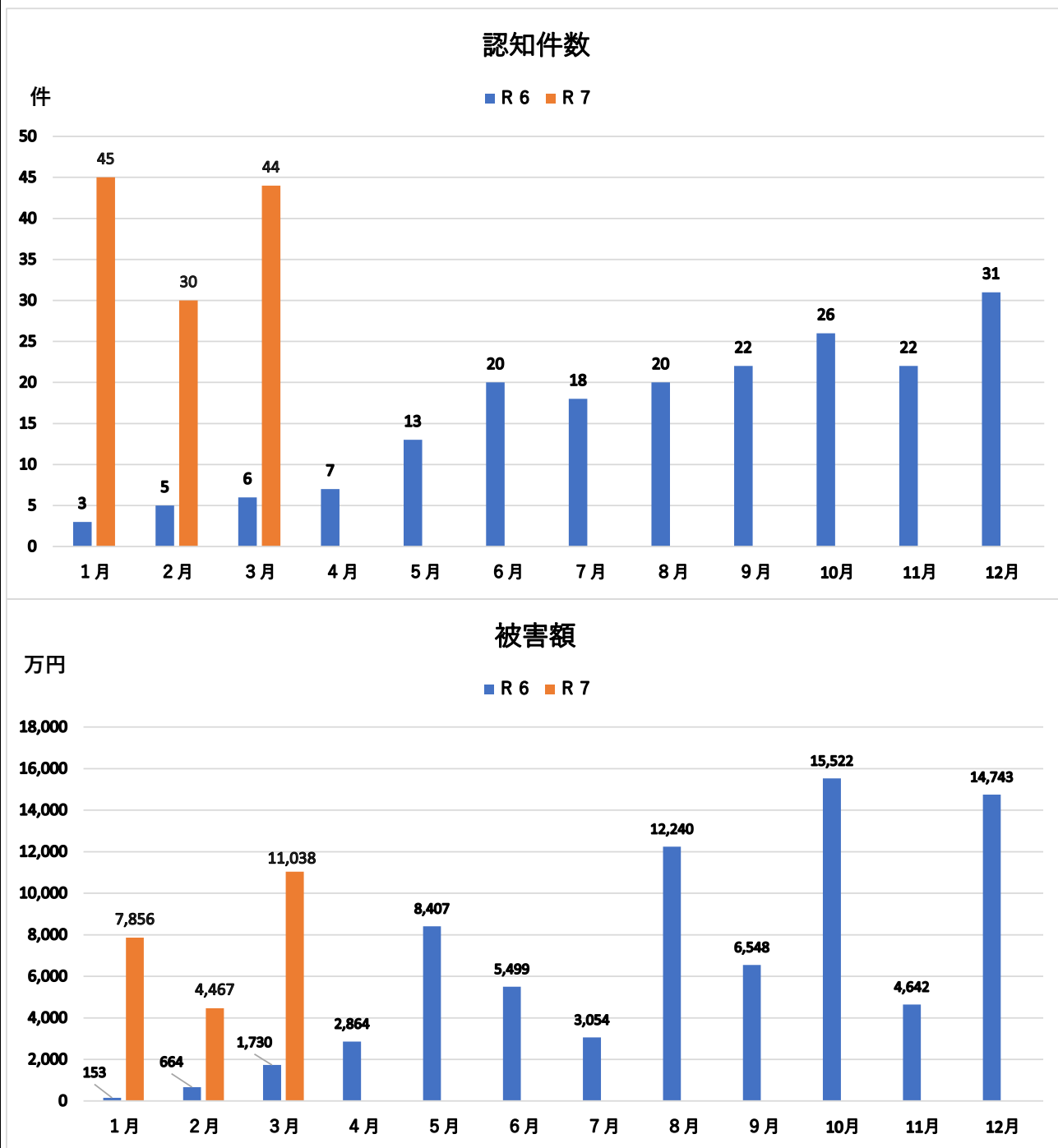
被害者（網走市内居住、60歳代女性）は、自宅固定電話に、警察官を名乗る男から電話を受け、「あなたのメールアドレスから迷惑メールが出ている。」「詐欺の被害に遭ったお金があなたの口座に振り込まれているかを確認する。」等と言われた後、SNSでのやり取りに移行し、「偽の警察手帳」などの画像を見せられたことで警察官であると信用してしまい、「捕まった犯人があなたの口座にお金を振り込んでいる。」「通帳に入っているお金を確認したいので、お金を送って下さい。」などと言われ、指定された口座に複数回振り込み、合計1,396万円をだまし取られた。

(2) 金融機関職員を名乗り、キャッシュカードをだまし取る預貯金詐欺

被害者（札幌市内居住、80歳代女性）は、自宅固定電話に、金融機関職員を名乗る男から、「あなたに医療費の還付金がある。」「あなた名義の口座に振り込むので持っている口座を教えてください。」「そのキャッシュカードは古くなっているので、今からあなたの家に行く職員に渡してほしい。」などと電話を受け、自宅を訪問してきた女にキャッシュカード2枚を手交してだまし取られ、同キャッシュカードから、合計140万円を引き出された。

○令和7年3月末における特殊詐欺の認知件数は119件（R6年3月末:14件）で前年に比べ105件増加し、被害金額は約2億3000万円（R6年3月末:約2,500万円）で前年に比べ約2億円増加しました。
 ○特殊詐欺被害者の年齢層は、高齢者（65歳以上）の割合が約61.3%（令和6年:約42.6%、令和5年:約74.2%）となっており、被害者の半数以上が高齢者の方となります。
 ○本年の特殊詐欺被害を分析すると、「警察官を名乗るオレオレ詐欺」「キャッシュカードを手交してだまし取る預貯金詐欺」の被害が多発しています。引き続き、犯人からの電話を受けないための対策として、「国際電話不取扱受付センター」への積極的な申込みの検討をお願いします。また、キャッシュカードをだまし取るため、キャッシュカードの受け取り役いわゆる「受け子」が道内に多数入り込んでいる状況です。

3 認知件数及び被害額の前年同期比



【被害防止ポイント】

- 「キャッシュカードは他人に渡さない。」 「暗証番号は他人に教えない」を徹底すること
- 電話で「キャッシュカードを受け取りに行く。」と言われたときには、必ず最寄りの警察又は#9110に相談することに配慮し、被害防止対策をお願いします。